

三菱UFJ 米国債券インカムオープン

追加型投信／海外／債券

愛称：夢咲月

第102期末（2019年1月8日）	
基準価額	6,571円
純資産総額	3,150百万円
第100期～第102期	
騰落率 (上昇率・下落率)	-0.4%
分配金合計(*)	150円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 各期の分配金を合計したものです。

第100期（決算日：2018年9月10日）
 第101期（決算日：2018年11月8日）
 第102期（決算日：2019年1月8日）

作成対象期間
 (2018年7月10日～2019年1月8日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、USボンドマザーファンド受益証券を通じて、米ドル建ての公社債を高位に組み入れ、利子収益の確保及び値上がり益の獲得をめざす運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくご願ひ申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

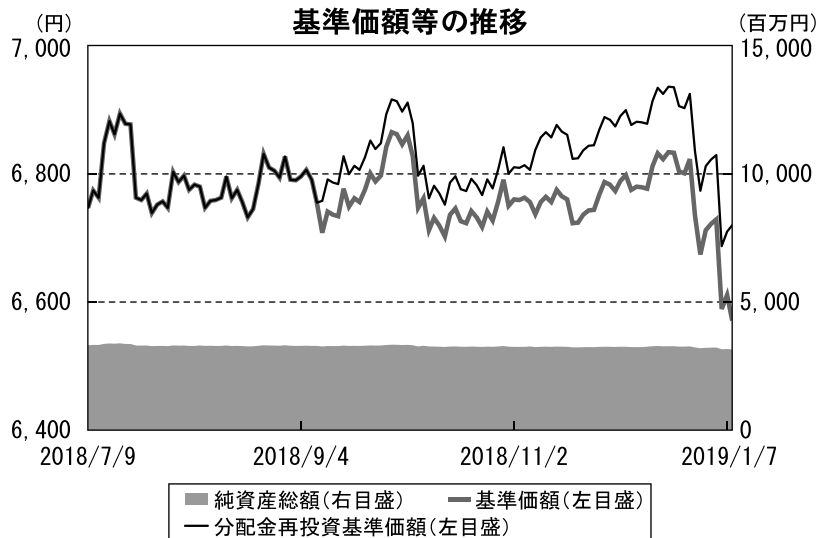
お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第100期～第102期：2018/7/10～2019/1/8)

基準価額の動き 基準価額は当作成期首に比べ0.4% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



第100期首： 6,747円
第102期末： 6,571円
(既払分配金 150円)
騰落率： -0.4%
(分配金再投資ベース)

・当ファンドは、原則として利子収益をもとに隔月分配を行う商品であり、また、マザーファンドを通じて投資する公社債はA-1格以上(アセットバック証券(ABS)およびモーゲージ証券(MBS)についてはA-1格以上)の格付を取得しているものに限定されており、広く認知されている指標の中で当ファンドの基準価額動向と適切に比較できるものがないため、ベンチマークおよび参考指数を掲載しておりません。

・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



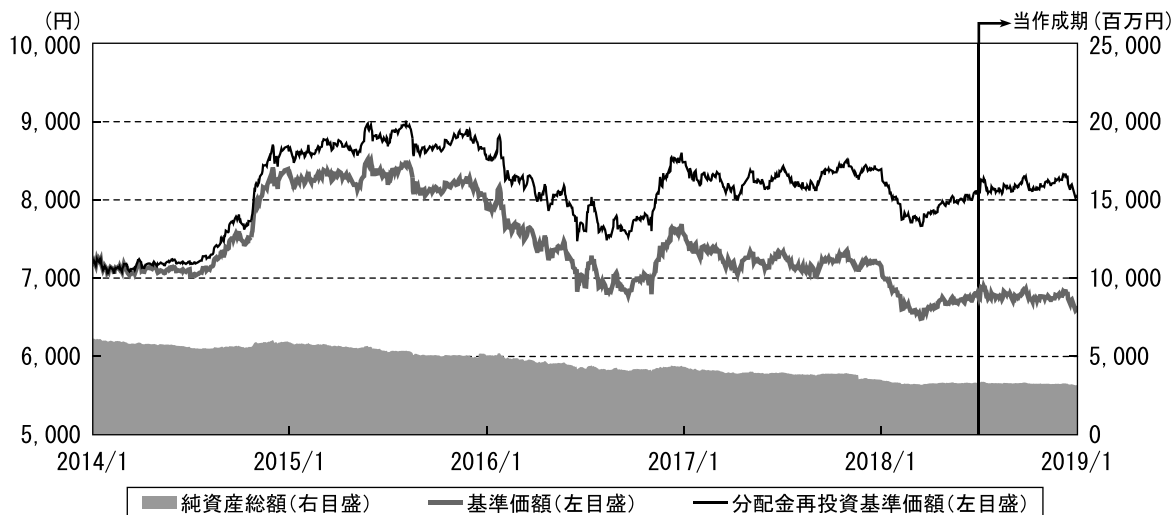
実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券利子収入を享受したこと等は基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	米ドルが対円で下落したことや信託報酬等のコスト等が基準価額の下落要因となりました。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2014年1月8日～2019年1月8日)



・分配金再投資基準価額は、2014年1月8日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

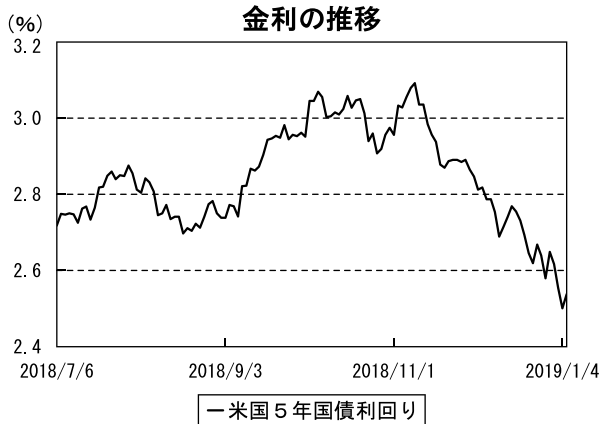
	2014/1/8 期初	2015/1/8 決算日	2016/1/8 決算日	2017/1/10 決算日	2018/1/9 決算日	2019/1/8 決算日
基準価額(円)	7,227	8,317	7,890	7,537	7,152	6,571
期間分配金合計(税込み)(円)	—	300	300	300	300	300
分配金再投資基準価額騰落率	—	19.8%	-1.6%	-0.4%	-1.1%	-3.9%
純資産総額(百万円)	6,147	5,899	5,056	4,331	3,506	3,150

・ファンド年間騰落率は、収益分配金(税込み)を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドは、原則として利子収益をもとに隔月分配を行う商品であり、また、マザーファンドを通じて投資する公社債はA-格以上(アセットバック証券(ABS)およびモーゲージ証券(MBS)についてはAA-格以上)の格付を取得しているものに限定されており、広く認知されている指標の中で当ファンドの基準価額動向と適切に比較できるものがないため、ベンチマークおよび参考指数を掲載していません。

投資環境について

(第100期～第102期：2018/7/10～2019/1/8)



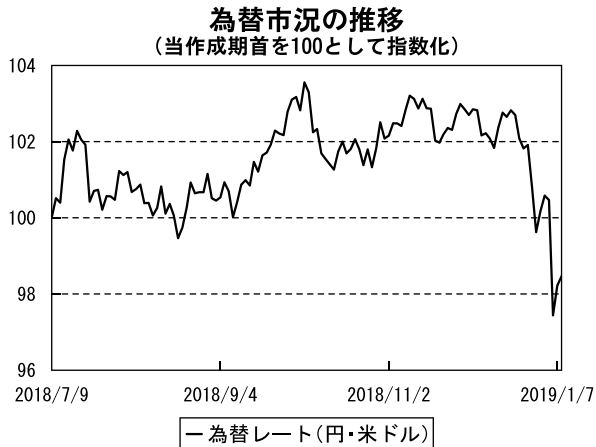
(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・米国の金利は、米国で発表された経済指標が概ね堅調であったこと等が金利の上昇要因となったものの、原油価格の下落等を受けてインフレ期待が低下したこと等が金利の低下要因となり、作成期首と比べると低下しました。

◎為替市況

- ・米国株式市況が下落する中、投資家のリスク回避姿勢が高まったこと等から米ドルは対円で下落しました。



当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<三菱UFJ 米国債券インカムオープン>

- ・USボンドマザーファンド受益証券への投資を通じて、米ドル建ての公社債を高位に組み入れた運用を行いました。主として、信託報酬等のコスト等がマイナス要因となり、基準価額（分配金再投資ベース）は、当作成期首に比べ下落しました。

<USボンドマザーファンド>

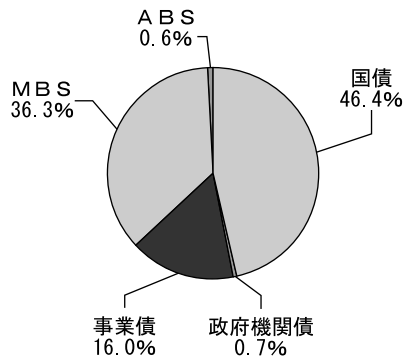
基準価額は当作成期首に比べ0.1%の上昇となりました。

- ・ファンドのデュレーション（平均回収期間や金利感応度）についてはやや抑制的な投資スタンスとしました。
- ・債券種別（セクター）配分については、市場対比で政府機関債や住宅ローン債権を担保としたモーゲージ証券（RMBS）に対して消極的な投資スタンスとしました。市場対比で事業債はファンダメンタルズの面から魅力的な投資対象であり、米国が緩やかな経済成長を続ける中、相対的に利回りが高い事業債には、引き続き根強い需要があるとの考えから、積極的な投資スタンスとしました。
- ・前記のような運用を行った結果、円高・米ドル安が進行したこと等がマイナスとなったものの、債券利子収入を享受したこと等はプラスとなり、基準価額は、当作成期首に比べて上昇しました。

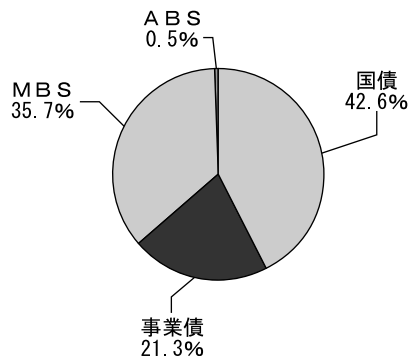
(ご参考)

債券種別構成

作成期首 (2018年7月9日)



作成期末 (2019年1月8日)



(注) 比率は現物債券評価額に対する割合です。

(ご参考)

債券の格付分布

作成期首 (2018年7月9日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	79.6%	254
AA格	3.3%	4
A格	11.9%	19
BBB格	0.0%	0
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

作成期末 (2019年1月8日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	76.8%	254
AA格	5.0%	9
A格	14.7%	27
BBB格	0.0%	0
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・ 比率は純資産総額に対する割合です。
- ・ 格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・ AA格 (AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 - ・ A格 (A+, A, A-, A1, A2, A3)
 - ・ BBB格 (BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - ・ BB格 (BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・ 原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付 (国の発行体格付) を採用しているものがあります。
- ・ 格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、原則として利子収益をもとに隔月分配を行う商品であり、また、マザーファンドを通じて投資する公社債はA一格以上（アセットバック証券（ABS）およびモーゲージ証券（MBS）についてはAA一格以上）の格付を取得しているものに限定されており、広く認知されている指標の中で当ファンドの基準価額動向と適切に比較できるものがないため、ベンチマークおよび参考指数を掲載しておりません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第100期	第101期	第102期
	2018年7月10日～ 2018年9月10日	2018年9月11日～ 2018年11月8日	2018年11月9日～ 2019年1月8日
当期分配金 （対基準価額比率）	50 0.740%	50 0.737%	50 0.755%
当期の収益	47	49	44
当期の収益以外	2	0	5
翌期繰越分配対象額	701	701	696

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

<三菱UFJ 米国債券インカムオープン>

◎今後の運用方針

- ・ マザーファンドへの投資を通じて、米ドル建ての公社債を高位に組み入れ、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざす運用を行います。

<USボンドマザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・ 引き続き米国経済は底堅く推移すると見られることから、米国では利上げ局面が継続すると考えています。一方で、財政政策の効果が剥落すること等も想定されることから、米国金利はレンジ内で推移すると予測します。

◎今後の運用方針

- ・ ファンドのデュレーションについては、やや抑制的な投資スタンスで臨み、状況に応じて機動的に対応する方針です。
- ・ 国債・政府機関債への投資配分は、引き続きマーケット状況などを勘案しつつ慎重な配分調整を行う方針です。事業債への投資配分は、ファンダメンタルズの面から魅力的な投資対象と考え、積極的な投資スタンスを維持します。MBSへの投資配分は、米国の利上げ局面が続く中で、RMBSは不安定になると考えることから、RMBSについて消極的な投資スタンスを維持します。

お知らせ

i 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）とともに、約款記載の整備を行うため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載変更ならびに約款記載の整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。（2018年10月6日）

◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

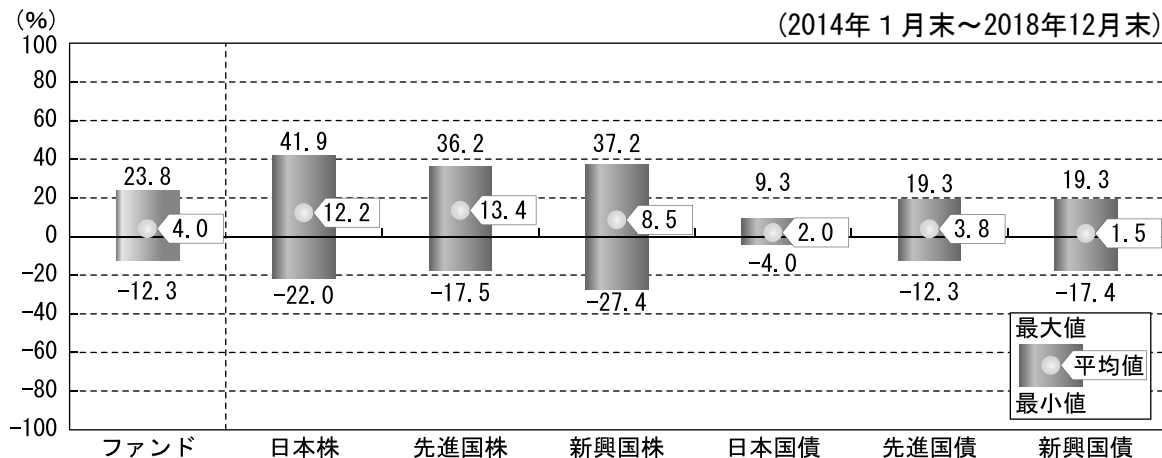
* 本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2002年1月18日設定）	
運用方針	マザーファンドを通じて、高格付けの米ドル建ての公社債に分散投資を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの運用は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに委託します。	
主要投資対象	当ファンド	USボンドマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	USボンドマザーファンド	米ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
運用方法	高格付けの米ドル建ての公社債を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行い、値上がり益の獲得をめざします。	
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

i 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2014年1月から2018年12月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

- 日本株：TOPIX（配当込み）
- 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）
- 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
- 日本国債：NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）
- 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2019年1月8日現在)

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第102期末 2019年1月8日
U S ボ ン ド マ ザ ー フ ァ ン ド	99.6%

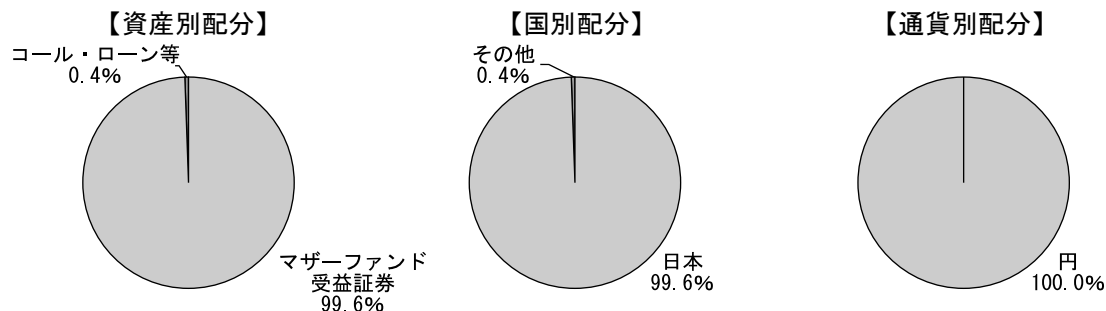
・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項 目	第100期末 2018年9月10日	第101期末 2018年11月8日	第102期末 2019年1月8日
純資産総額	3,268,274,044円	3,242,866,490円	3,150,412,105円
受益権口数	4,872,174,880口	4,813,587,813口	4,794,269,262口
1万口当たり基準価額	6,708円	6,737円	6,571円

・当作成期間中（第100期～第102期）において
追加設定元本は 174,940,608円
同解約元本は 294,835,347円 です。

種別構成等



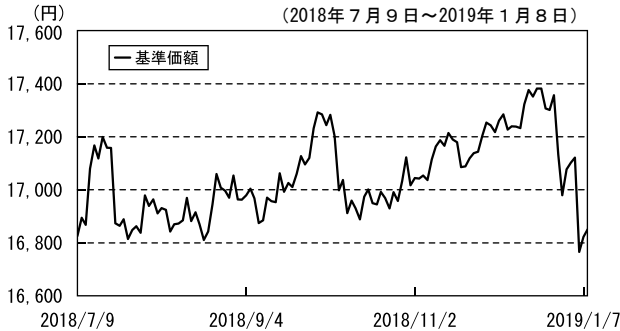
- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
- ・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

組入上位ファンドの概要

(2019年1月8日現在)

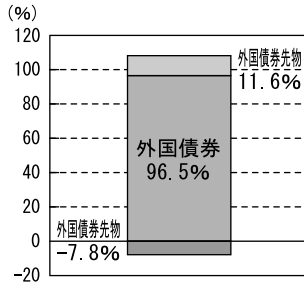
USボンドマザーファンド

基準価額の推移

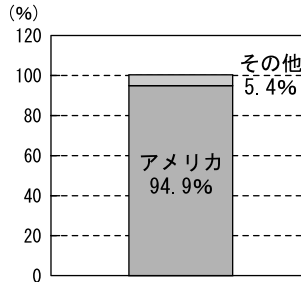


種別構成等

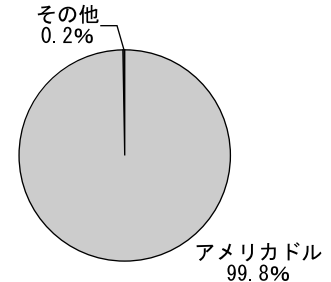
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・資産別配分の先物は買建と売建を別々に表示しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含まれます。
- ・国別配分は、同一国で買建と売建がある場合、相殺したネットポジションにて表示しています。

1万口当たりの費用明細

(2018年7月10日～2019年1月8日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002
(先物・オプション)	(0)	(0.002)
(b) そ の 他 費 用	2	0.009
(保 管 費 用)	(1)	(0.007)
(そ の 他)	(0)	(0.002)
合 計	2	0.011

期中の平均基準価額は、17,051円です。

(注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：290銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	7.625 T-BOND 221115	債券	アメリカ	国債	15.4%
2	8.125 T-BOND 210515	債券	アメリカ	国債	7.3%
3	7.625 T-BOND 250215	債券	アメリカ	国債	6.3%
4	6.75 T-BOND 260815	債券	アメリカ	国債	5.9%
5	8.75 T-BOND 200815	債券	アメリカ	国債	4.4%
6	3.5 G2 AB7278 421120	債券	アメリカ	特殊債	2.3%
7	4.3878JPMCC11C4A4 460715	債券	アメリカ	社債	2.3%
8	4.869 WFRBS11-C2 440215	債券	アメリカ	社債	2.1%
9	4 G2 MA5320 480720	債券	アメリカ	特殊債	1.7%
10	3.5 G2 MA5397 480820	債券	アメリカ	特殊債	1.7%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

指数に関して

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信